

# TREND-ONE 計算・図面作成（土地）

TREND-ONE または Mercury-ONE を利用して、地番データを相互連携させることで実データの作成・管理を行います。

※TREND-ONE（Mercury-ONE）の最新版がインストールされているときに使用できます。

連携する項目は、以下の通りです。

| TREND REX     |   | TREND-ONE                 |
|---------------|---|---------------------------|
| 不動産番号         | ⇔ | 不動産番号                     |
| 住所            | ⇔ | 都道府県、市町村、字・地番             |
| 地番            | ⇔ | 地番名                       |
| 公簿地目          | ⇔ | 地目（公簿）                    |
| 現況地目          | ⇔ | 地目（現況）                    |
| 公簿面積          | ⇔ | 公簿面積                      |
| 現況地積          | ← | 直角座標法面積                   |
| 精度区分          | ⇔ | 精度区分                      |
| 所有者（名前、住所、持分） | ⇔ | 所有者（名前、住所、持分）<br>6名以上は共有者 |

## 01

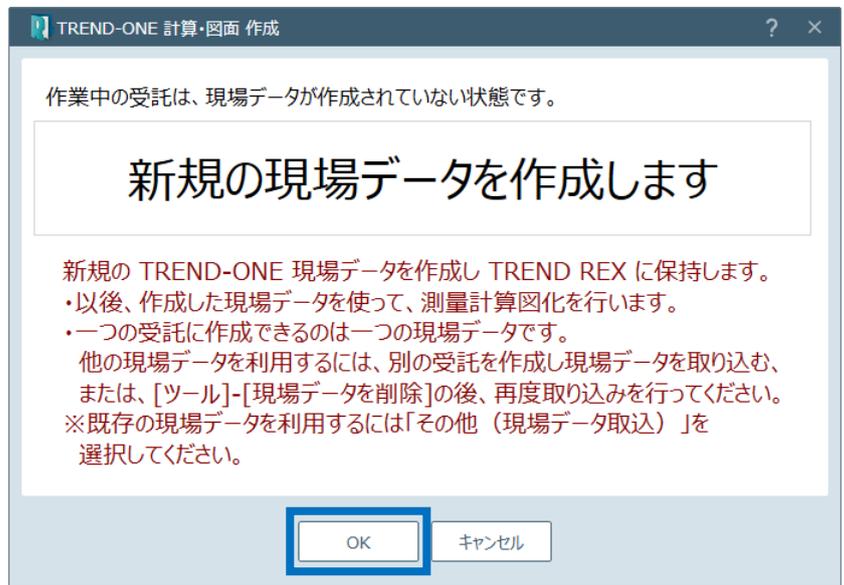
### TREND-ONE 計算・図面作成

1. [TREND-ONE 計算・図面作成] を選択し、作成する図面をクリックします。  
※Mercury-ONE がインストールされている場合はコマンド名が [Mercury-ONE 計算・図面作成] になります。

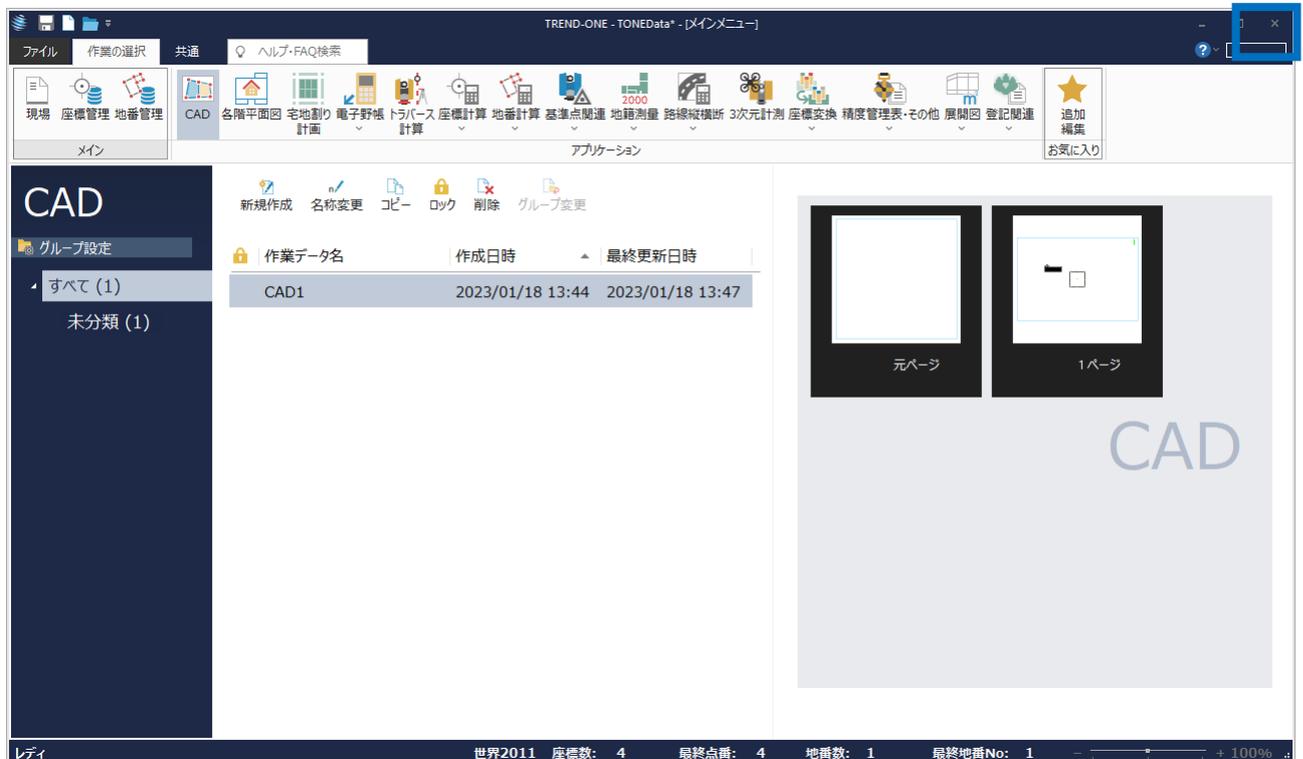
利用する計算・図面は、[設定] - [マスター管理] の [TREND-ONE 計算・図面作成メニュー] で、事件（「土地」「普通建物」「区分建物」）別に変更できます。



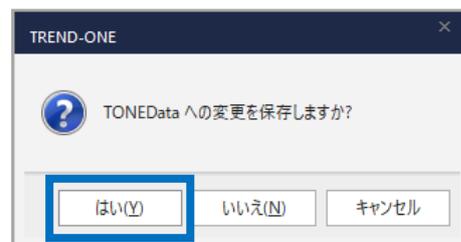
2. 新規の現場データ作成の確認のメッセージが表示されるため、[OK] をクリックします。  
※既存の現場データを選択するときは、[その他（現場データ取込）] を選択します。



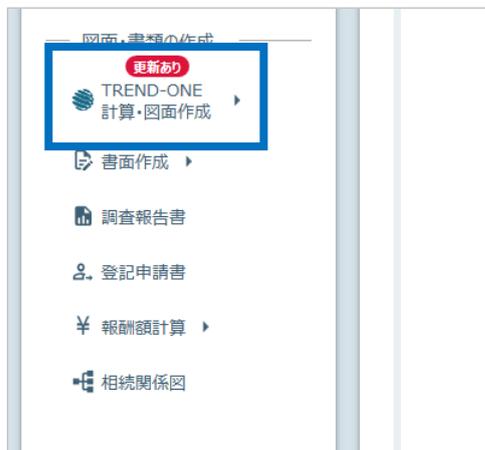
3. ここでは、TREND-ONE で現況平面図を作成して右上の [閉じる] をクリックします。



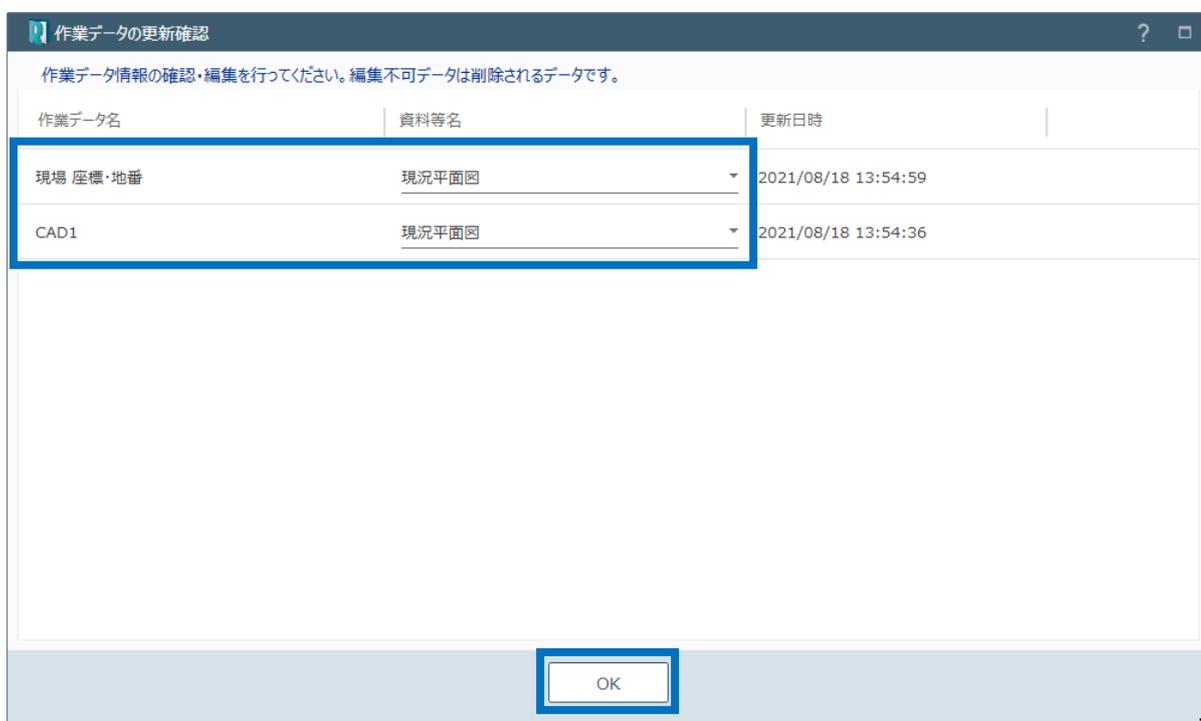
4. 保存確認のメッセージが表示されるため、[はい] をクリックします。



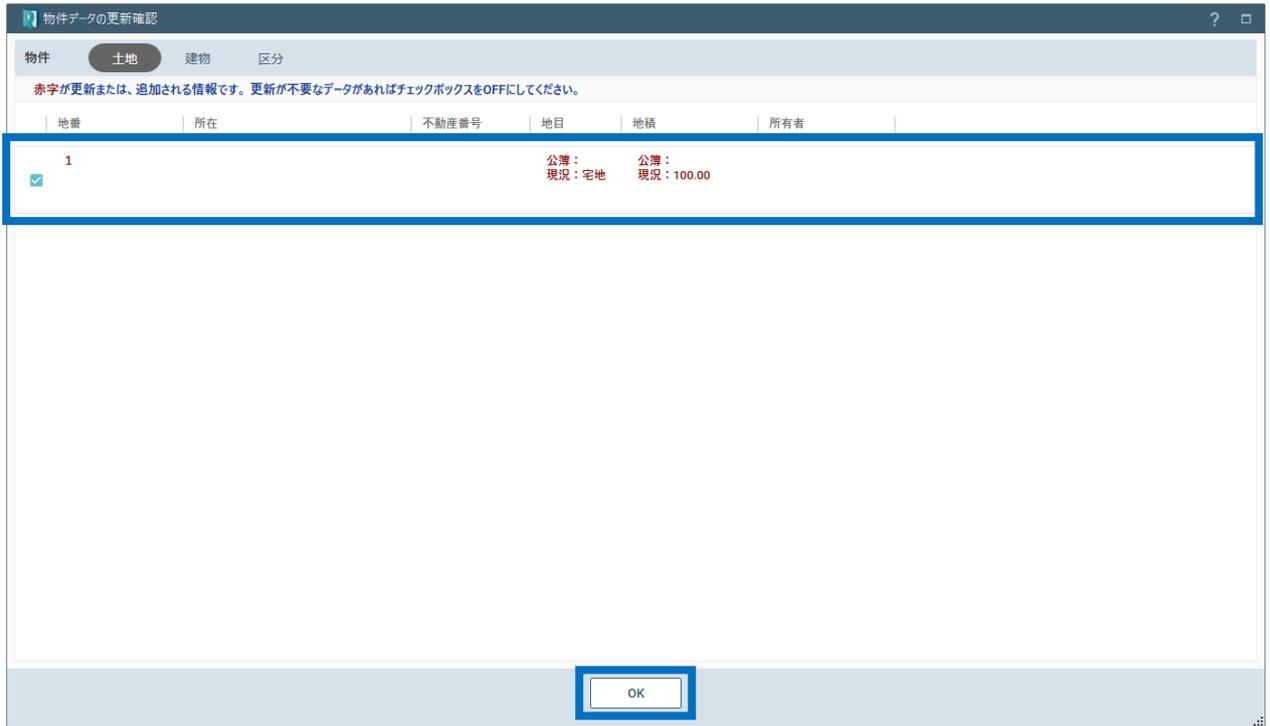
5. 作成した現場データが TREND REX へコピーされます（「更新あり」と表示されます）。  
[TREND-ONE 計算・図面作成] をクリックします。



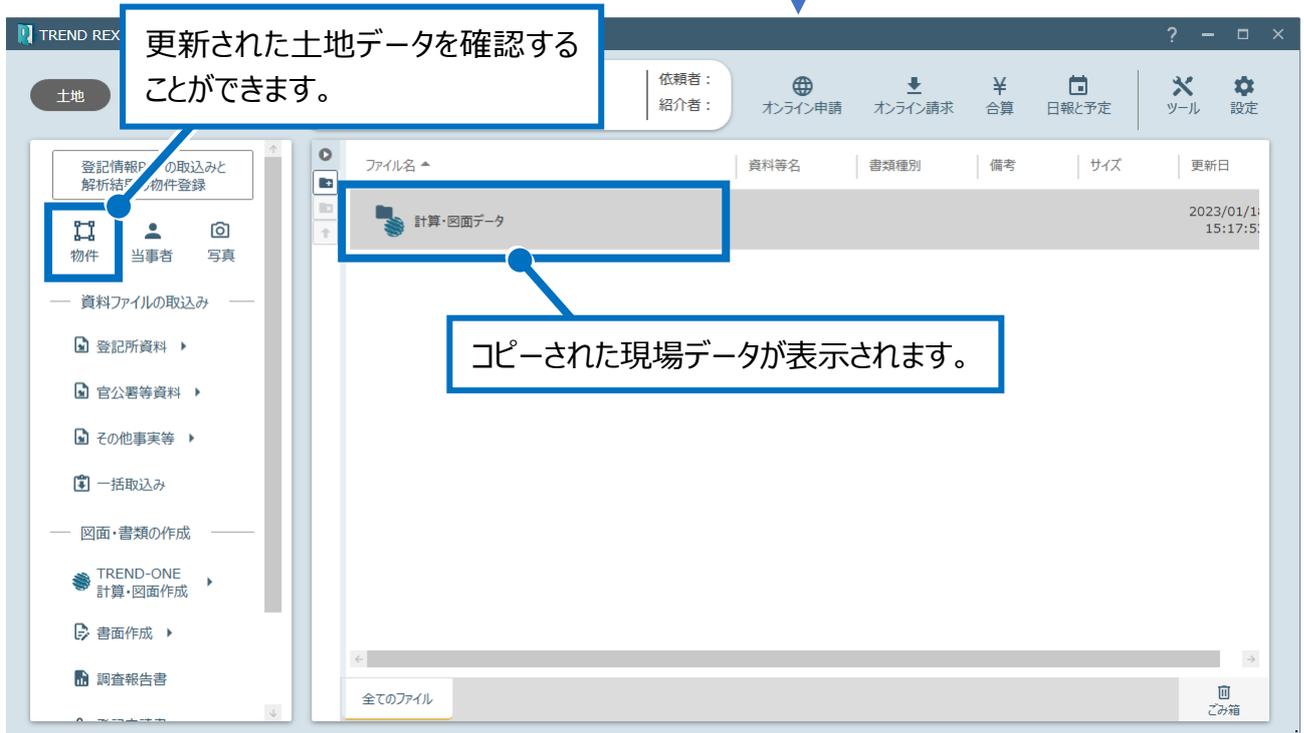
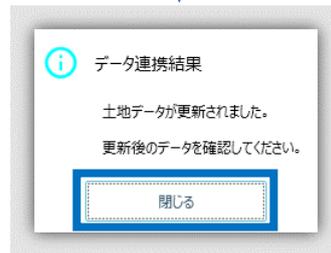
6. 作成データ情報を確認して [OK] をクリックします。



7. 更新・追加されたデータを**確認**して [OK] をクリックします。



8. 確認のメッセージが表示されるため、[閉じる] をクリックします。



## 02

## 図面データより tiff 図面の作成

1. 図面データを右クリックして [図面データより tiff 図面の作成] をクリックします。



2. tiff 図面を作成するデータを選択して [OK] をクリックします。

